

ふちゅう歴史散歩 Vol.131

備後国と法隆寺 厩戸皇子没後1400年

令和4年は、厩戸皇子（聖徳太子）が没してから1400年という年に当たります。厩戸皇子は、推古天皇の治世を蘇我馬子とともに支え、また日本での仏教の普及に努めたことで有名ですが、備後国にも若干の関わりがあります。

厩戸皇子が建立した代表的な寺院に法隆寺【図1】がありますが、その由来や財産などを記した史料に『法隆寺伽藍縁起并流記資財帳』があります。そこに処々庄の一つとして「備後国老処（在深津郡）」と見え、ここには倉や建物があったと考えられます。

古代の深津郡で思い浮かぶのは、『日本書紀』下巻27に見える深津市の情景です。ここでは正月の買い物のために深津市を訪れた苜田郡の人が讃岐国の人と交易をしている状況が記されており、瀬戸内海を越えた交流の存在をうかがわせます。これが可能であったのは、深「津」という地名から推測されるように港

が存在していたためであり、それは苜田川を通じて、備後国府ともつながっていました【図2】。

深津の地は備後国内だけでなく瀬戸内地域の流通経済・交通上の要衝といえ、法隆寺はこうした状況を踏まえ、寺院活動を支える基盤の一つとして拠点施設を設置したと考えられます。

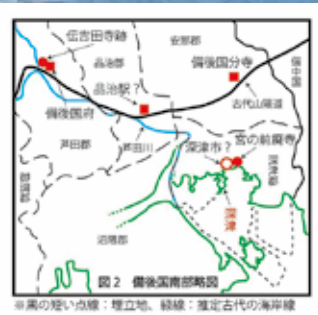


図1 ColBase (https://colbase.nich.go.jp) より
図2 執筆者作成

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

「ホームプロジェクト」 高校生編 その88



投稿者(文と写真)
上下高校
1年A組
中間 颯

今回、私はホームプロジェクトという活動に参加し、福山地区の代表として広島県の研究発表大会に出場しました。活動テーマは、「コロナ禍での誕生日サプライズ」です。私の家では誕生日には、レストランなどに行ってお祝いすることが恒例でしたが、コロナ禍で母の誕生日を思うようにお祝いできなかったため、自分がレストランに出てくるような、おしゃれな料理を作ってお祝いしたいと考えたからです。レシピは、食べる人を幸せにするというコンセプトで作りました。特にこだわったことは、和と洋を融合させることと、秋の食材を多く取り入れることです。また、母の好みである柚子や香味野菜も用いることにしました。特に工夫したことは、魚料理に秋野菜の3種のソースを添えることで、油脂量

を減らし、野菜の使用量を増やしたことです。レシピ作成では、使いたい食材を上手く使えなかったり、分量を工夫したりして、たくさん試行錯誤し大変でした。しかし、完成した料理はコンセプト通り、母に笑顔になってもらえる品が作れたと思います。母にうれしいと言ってもらえて、私もとてもうれしかったです。

私は将来、調理の専門学校に進み、たくさんの経験をして世界で活躍するような料理人になりたいと思っています。料理を通して、たくさんの人の支えとなれるよう楽しく頑張っていこうと思います。



府中市 R C C ラジオ番組「府中に夢中！」
毎週月曜日16:30~16:45(そのうちの5分間) R C C ラジオ (1530KHz)
今月の放送日 **3月7日(月)・14日(月)・21日(月)**
府中市のマチ・ヒト・モノに注目し、聞いて楽しく、府中市を感じられる内容をお届けします。

公式 SNS LINE 公式 SNS facebook スマホアプリ radiko(ラジオ)

府中市メール配信サービス